



## 9/12 秋晴れに恵まれ運動会 村内4小学校運動会

村内の4小学校（両併・白水・中松・南阿蘇西）の運動場で運動会が開催されました。

南阿蘇西小学校（後藤廣校長）では、晴天に恵まれ、多くの来賓や保護者が見守る中、元気よく全校児童が入場。紅白に分かれた子どもたちは、各学年による徒走や、ダンス、組み体操、応援合戦など毎日暑い中頑張った練習の成果を披露しました。

3・4年生の表現「NANSEIソーラン!!」では、お揃いの法被に身を包んだ子どもたちが力強く「ソーラン節」を踊ると、会場からは歓声や暖かい拍手が送られていました。



3・4年生の子どもたちによる「NANSEIソーラン!!」

## 9/19~26 かけっこもダンスも頑張ったよ！ 村内3保育所運動会

9月19日～26日にかけて、村内3つの保育所（白水・久木野・ちょうよう）で秋の運動会が開催されました。

久木野保育所では、開会式で園児を代表し、小野寺菜晴くん、古澤華蓮さんが「僕たち私たちはかけっこやお遊戯を一生懸命頑張ります」と力強く宣誓し、運動会が開幕。

ダンスや、綱引き、年長児による「火の国太鼓」も披露され、一生懸命な園児たちの姿に保護者や来賓から大きな拍手や声援が送られました。未満児クラスの技巧走「おつかいありさん」では、蟻に扮した親子が、好きなお菓子を拾って仲良くゴールしていました。



「おつかいありさん」で好きなお菓子を選ぶ親子たち

## 9/11 いつまでもお元気で 久木野小学校放課後子ども教室

久木野小学校（東光洋校長）の放課後子ども教室に参加している1年生から3年生の子ども55人が、9月に各地区で開催される「敬老会」の会場にメッセージ入りのポスターを飾ってもらおうと、久木野地区老人会会長の田所泰人さん（第二駐在）へ全駐在区分のポスター9枚を手渡しました。

代表でメッセージを受け取った田所さんは、「素晴らしいメッセージが書けています。それぞれ敬老会があるので、地域に持ち帰って皆さんの気持ちをお伝えしたいと思います」とお礼を述べられました。



子どもたちからメッセージを受け取る田所さん



子どもたちが作成したメッセージポスター

## 9/18 交通事故防止を目指して 秋の全国交通安全運動出発式

秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）の出発式が、「あそ望の郷くぎの」で開催されました。

出発式では、井上智高森警察署長が、「これから観光シーズンに入りますが、安全で安心な南郷谷を確保していただくようお願いします」とあいさつされ、ちょうよう保育園の園児が、歌やダンスで式に花を添えました。

式典後は、村の交通安全指導員、交通安全母の会の皆さんで、「道の駅あそ望の郷くぎの」前の県道に立ち、交通安全を呼びかけるチラシのほか、「運転は名水飲んでわきみず（湧き水）に」のラベルが貼られた白川水源の水と米のセットをドライバーに手渡し、同運動を呼びかけました。



交通安全を呼びかける交通安全指導員の皆さん

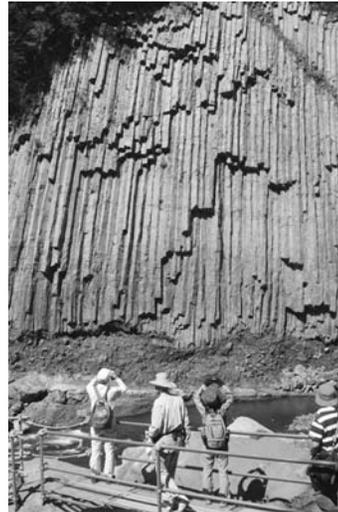
## 9/19 歴史を学びながら村を満喫 「南阿蘇村阿蘇火山の歴史を学ぶジオツアー」

「阿蘇火山の歴史を学ぶジオツアー」が開催され、村内外から22人が参加しました。案内は、ジオガイドの中島一美さん（白川）が説明されました。参加者たちは、普段見ることのできない立野柱状節理の迫りに圧倒され、夢中でカメラのシャッターを切る参加者もいました。昼食では、「道の駅あそ望の郷くぎの」で地元料理を楽しみ、その後、白川水源見学やトロッコ列車体験と南阿蘇村を満喫しました。

多くの参加者からは、「またツアーに参加したい」という声や「次回は紅葉を見に村を訪れたい」という声が聞かれ、とても充実したツアーとなりました。



白川水源でおいしい水を堪能



立野柱状節理に圧倒される参加者の皆さん



ジオガイドの中島さんから説明を受ける参加者の皆さん

## 9/28 庁舎建設工事始まる 役場新庁舎建設工事起工式

役場新庁舎建設工事の起工式が河陽地区の建設予定地で、荒牧俊一村議会議長のほか会議議員、区長会、村関係者、工事関係者など108人が出席して行われました。

庁舎棟が地上2階地下1階建て鉄筋コンクリート造4,151.69m<sup>2</sup>、車庫棟が平屋建て鉄骨造576m<sup>2</sup>で平成28年10月末に完成予定です。

施主あいさつで長野村長が「庁舎の統合は早くやらなければならない大きな懸案事項でした。ご理解とご協力をいただいた皆さまに厚くお礼を申し上げます」と述べました。

庁舎統合後、久木野庁舎は文化施設的な活用、白水庁舎は行政書庫、倉庫として活用、長陽庁舎は解体して駐車場としての活用が計画されています。



地鎮の儀で鎌を入れる長野村長

## 9/26 BGM が会場を魅了 観月会

恒例の「観月会」が南阿蘇観音桜展望公園（第八駐在）で開催されました。

当日は、あいにくの曇り空で、現れなかった月も、会の終わりには雲の隙間から姿を見せ、観客から歓声が上がりました。また、「女子会さくら」による露店や竹かっぽ酒の振る舞いもあり、多くの来場者で会場は賑わいました。

ステージでは、ジャズ演奏や、飛び入りで「花わらべ」の今村明音さん（第七駐在）、小堀ゆりあさん（第八駐在）の舞踊も披露され、来場者を魅了しました。



舞踊を披露する「花わらべ」の今村明音さん(左)、小堀ゆりあさん(右)



## 9/29 恒久平和を祈念 戦没者追悼式

平成27年度戦没者追悼式が、グリーンピア南阿蘇で開催され、戦没者の遺族や関係者約160人が出席しました。

長野村長が、「ご遺族の皆さまには最愛の肉親を失い、決して癒やされることのない深い悲しみに耐え、幾多の苦難を乗り越え歩んでこられた今日までの並々ならぬご心労をお察し申し上げます、痛恨の情切々として、胸にせまるを禁じ得ません」と式辞を述べ、参列者一人一人が献花台に花を手向けたあと、村遺族会会長の荒牧仁さん（第四駐在）が、「今日の平和が多くの御英霊の尊い礎のもとで成り立っていることを忘れません」とあいさつされました。



遺族代表あいさつをされる荒牧仁さん

## 9/28 初めての「のこぎり体験」楽しかった！ 中松小学校4年生「木工教室」

「阿蘇森づくり協議会」が、中松小学校（工藤英治校長）の4年生9人に、木工教室を開催しました。

これは、木材の利用意義についての理解や県産木材の需要拡大を図ることを目的に阿蘇管内の小学校を対象に行われているもの。

くまモンのデザインが入った間伐材を使用し、のこぎりを使うのは初めての子どもたちは、阿蘇地域振興局、阿蘇森林組合職員に手ほどきを受け、プランターを完成させました。

完成後に、「のこぎりで板を切るのが難しかったです」（山戸聖海さん）、「くぎを打つのが楽しかったです」（緒方和さん）と感想を話してくれました。



プランター作りに挑戦する子どもたち

## 10/1~14 芸術の秋を満喫 南阿蘇村谷人たちの美術館

村全体を美術館に見立てた「南阿蘇村谷人たちの美術館」が、村内45カ所の工房やアトリエで開催されました。

久木野地区にある「木工房 菜の花」では、木工品で手作りされたパズル組木のひな人形、サンタクロースのほか、一輪さし、掛け時計、天井につるして飾る「モバイル」など数多くの作品が展示され、来場者の目を楽しませていました。

同イベントに先立ち、9月23日（水）には、神楽の里公園「神楽殿」で「ファミリー弦楽コンサート」も開催。コントラバスやバイオリンを中心とした楽器でアニメなどの音楽が演奏で会場が魅了されました。



パズル組木の「ひな人形」（木工房 菜の花）

## 10/1 世界のツーリングコースへ 「ケニーロード」除幕式（南阿蘇グリーンロード）

西原村と本村を結ぶ「南阿蘇グリーンロード」の通称名が「ケニーロード」と名付けられ、その案内板の除幕式があいにくの雨のため、「道の駅あそ望の郷くぎの」で開催。村田信一副知事のほか山口達人阿蘇地域振興局長など多くの関係者が出席しました。

これは、アメリカ出身で「元モーターサイクル・レーシングライダー世界チャンピオン」ケニー・ロバーツさんが、友人とツーリングで毎年同地を訪れた際、とても気に入られたため、有志の要望で、県・西原村・本村の許可により今回の通称名となりました。

式の終わりにケニーさんは、「『ケニーロード』と名付けてもらえたことが世界で初めてとても光栄です。今後、世界の友人と訪れたい」とあいさつされました。

案内板は、展望所に設置されています。



除幕式に出席した皆さんで記念撮影

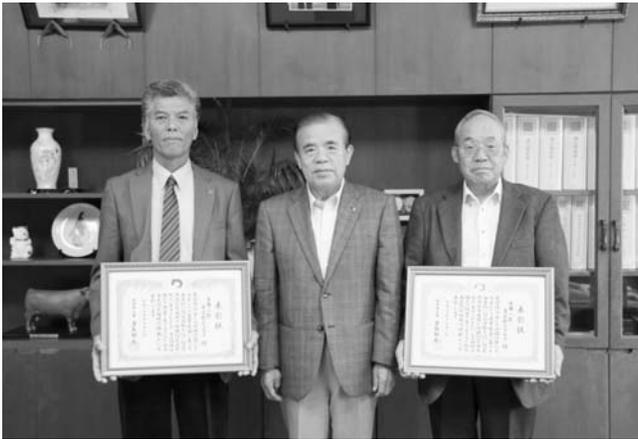
10/7

## 知事表彰を報告

吉田一区・吉田三区自主防災クラブ

吉田一区・吉田三区自主防災クラブが、10月2日に熊本県庁にて、優良自主防災組織知事表彰をされ、塚本秀昭さん（吉田一区長）と宮田義久さん（吉田三区長）がその報告に長野村長を訪れました。

両自主防災クラブとも、地区の特性に応じた独自の防災訓練を毎年実施するなど、地域をあげて積極的に地域防災力を高めていることを高く評価されての表彰となりました。



知事表彰された宮田吉田三区長(左)、塚本吉田一区長(右)と長野村長

10/3

## スポーツを通して健康保持

第11回南阿蘇村福祉運動会

「第11回南阿蘇村福祉運動会」が、白水体育館で開催され、村内に在住する893人の選手たちが出場しました。

開会式の選手宣誓では、江藤誠也さん、町子さんご夫妻（第三駐在）が、「ケガをせずに無事に家に帰り着くことを誓います」と宣言されると会場からは笑いが起きていました。

手を使わず悪戦苦闘の「パン食い競走」や、久木野保育所の園児たち（40人）を相手に「ジャンケンポン」などの7競技が行われました。

会場の体育館内は、大きな声援が飛び交い大盛り上がりを見せていました。



「パン食い競走」で悪戦苦闘する選手の皆さん

10/16~18

## 温かいおもてなしで絵本とふれあい

10周年記念 南阿蘇えほんのくに誕生祭

今年で10回目開催となる「10周年記念 南阿蘇えほんのくに誕生祭」が10月16日～18日の3日間、本村と高森町の6カ所の会場で開催されました。

17日には、毎年即日完売の人気企画「えほん列車」が、南郷谷を約50人の乗客を乗せ走りました。車内での読み聞かせのほか、停車駅の立野駅、下田城温泉駅、中松駅でサプライズのアトラクションがあり、中松駅では、「孝女白菊の里づくりの会」の皆さんによる可愛らしい踊りが披露。総勢74人のボランティアの手による温かなおもてなしを毎年楽しみにしているリピーターも多く、「毎年内容が変わるので、親子共とても楽しみ。来年も必ず乗りたいです」と大好評の声が上がっていました。



中松駅で踊りを披露した「孝女白菊の里づくりの会」の子どもたち

10/10~18

## 秋へと向かう庭を開放

第5回南阿蘇・庭・めぐり 秋

個人の庭を開放する「第5回南阿蘇・庭・めぐり」が行われ、今回初めて秋の開催として10月10日～18日までの9日間、村内の3カ所の庭では、秋の南阿蘇を楽しもうと多くの来場者で賑わいました。

舩田誠二さん（第三駐在）の「ナチュラルガーデン南阿蘇」では、サラシナショウマ、クレオメ、ショウメイギク、サルビアなど秋の季節感のある美しい花が数多く咲き誇り、カメラに収めようとシャッターを切ったり、舩田さんに花の育て方などを質問する来場者の姿がありました。



細長く花を付けるのが特徴の「サラシナショウマ」(ナチュラルガーデン南阿蘇)